



▲無病息災を祈って(ごせんだらまつり)



▲多くの参拝客が訪れる伊良湖神社(御衣祭)

地域の話題

伊良湖校区

伝統と美しい自然を次世代へ

伝統あるお祭りの伝承と

美しい自然を守る環境保全の取り組みについて

伊良湖校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



伊

良湖校区は、渥美半島の先端に位置し、風光明媚な自然環境と名所旧跡などの歴史や文化が豊かな、市内で最も小さな校区です。

伝統あるお祭り



桜の花が残る4月中旬、毎年、伊良湖神社では「御衣祭」が行われます。参道の両脇にはたくさんさんの露店が並び、子どもからお年寄りまで多くの参拝者や観光客が訪れます。参道を歩くと懐かしい人に出会い、声をかけ合う風景も多く見られます。御衣祭は、三河大野で採れた蚕糸を織って、伊勢神宮におんぞ料として献じたのが始まりといわれています。伊良湖神社は女性の神様で、神事が行われる神殿の中には男性しか



入れません。この日、地区の女性たちは習わしに従って、はさみや針を手につけて、漁民たちは船の安全を祈る守護神の「船札」を受けます。以前は、旧暦の4月14日に行われていましたが、現在は4月の第3日曜日に行われています。

ごせんだらまつり

大晦日から元旦にかけて行われる火祭り「ごせんだらまつり」。飛び散る火の粉を浴びて身を清め、燃え上がる炎を飛び越える男たちの迫力に誰もが息をのみます。その勇者たちと一緒に、豊漁や無病息災など、新しい年の平安を祈ります。伊良湖神社の伝統あるお祭りに、ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

ふるさとに緑を！

渥美半島の先端に位置する恋路ヶ浜は、4つの日本の百選に選ばれています。その中のひとつに「白砂青松」がありますが、近年は松くい虫の被害により松が減少しています。白砂青松を維持しようと、平成19年度から毎年2月ごろに、児童と校区コミュニティ協議会のメンバーが中心となり、伊良湖岬周辺で松くい虫に強い抵抗性松の苗木を植樹しています。毎年300本ほどを植樹し、今では約2800本ほどの松が力強く育っています。



▲協力して植樹する児童

快適で活力ある校区に

伊良湖校区の将来像「自然環境と地域資源を活かした笑顔いっぱい快適な活力ある伊良湖校区」を目指し、これからも地域文化の伝承と自然環境の保全を進めていきます。そしてさまざまなイベントを通して、地域の人と人とのつながりを笑顔で結び取り組みを行ってまいります。